

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅周辺バリアフリー仕様整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	まちづくり推進課				
施策	4-6	バリアフリーのまちづくり	主管課長	梶 隆之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅及び周辺施設利用者	意図	公共交通機関を利用した移動にあたり、支障となるバリアを取除き、高齢者・身体障害者等の移動を円滑化し、利便性・安全性の向上を図る。
事業内容	新市街地地区において、土地区画整理事業者の協力を得て、駅周辺道路の段差のない道路整備や視覚障害者のための誘導ブロックの設置などを行う。			
事業開始から現在までの状況変化	事業の進捗と共に道路整備が進み、幅広い歩道整備や誘導ブロックの設置が行われた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	センター地区の整備率	78	92	100	%	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	・4箇所の各出口にエレベーター、エスカレーターが設置され、安全で便利な施設となっている。 ・駅西口、北口の整備が完了した。
事務事業の総コスト(a=b+c)				
事業費(b)(円)				
うち一般財源				
職員給与費(c)(円)				
人役・職員(人)				
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	西口広場の完成を目指し、引続き施行者との連携を強化する。	③取組における課題(Check)	完成した広場を適切に維持管理する。
②H30に実施した取組(Do)	西口広場の整備が完了した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	利用状況等を注視しながら、適切な維持管理を行う。